

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス リリー

支援プログラム (参考様式)

作成日 6年 11月 1日

法人（事業所）理念		子どもの個性 笑顔を大切に							
支援方針		リリーでは、子どもたち一人ひとりの特性に合った支援を行います。「良いところ」「できること」をしっかりと理解し、その個性が強みとなるような療育を目指します。							
営業時間		※土祝は 9時～18時	10時	0分から	19時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人 支援	健康・生活	お子さまの心身の異変に気づけるよう、日ごろからきめ細やかな観察を行い、特性に配慮したうえで、お子さまに支援を行います。また、本人が健康に生活を送ることができるよう、睡眠、食事等の生活バランスについて考える機会を設けます。さらに、集中力の維持、健康な体を維持するために「姿勢保持」について自分自身で意識ができるようアプローチを行います。重ねて、ストレッチなどを通じて自身で疲労回復を行えるようセルフケアの支援も行います。							
	運動・感覚	ヨガや運動療育（サーキット）などを通じて、自身の身体の効果的な使い方について学ぶ機会を設けます。また、バランス感覚、リズム感を遊びの中で楽しく身につけられるよう支援します。お子さまの年齢に合わせ、筋肉量、骨の成長状態にも配慮したうえで、安全に取り組むことを一番に心がけます。							
	認知・行動	お子さまの視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用し、認知機能の発達を促す支援を個別療育で行います。「実際に体験する療育」というのを大事にし、そのなかで体験するさまざまな経験を通じて、本人が日常生活をより良く過ごすための手掛かりを見つけられるよう支援します。また、ビジョントレーニングには力を入れ、「目からの情報を脳で処理し身体を動かす」といった能力を向上させられるよう支援していきたいと考えております。							
	言語 コミュニケーション	自分の気持ちを表現できるよう語彙を増やす療育を大事にします。あわせて、実際の体験と言葉の意味が結びつくようお子さまと普段から振り返りを行い、自発的に言葉を発することができることを目指します。また、言葉だけでなく、指差し、身振り手振りなどの表現も視野に入れ、お子さまの表現の幅を広げ、本人が安心して過ごせる時間が増えるよう支援します。							
	人間関係 社会性	前提として、お子さま自身ができると思うこと、難しいことなどについて、まずは整理することを大事にします。そのうえで、お子さまがどのように人間関係を築き、社会（園生活、学校生活）のなかで過ごしていくのか、より良い成長につなげていくにはどうすべきなのかについて一緒に考え、実践し、ふりかえることを行います。「ルールは守るべき」、「集団活動は参加したほうが良い」など安易な見通しではなく、お子さま自身が人間関係を築くうえで納得する、安心するかたちを一番に考えた療育を行っていきます。							
家族支援		お子さまへの支援内容に関しては随時、保護者様と共有いたします。また、お子さまに関することで保護者様からお話したいなどご希望があれば、積極的にそのお時間をおつくりし、支援について考えていきたいと思っております。			移行支援		保護者様と話をすることで、支援が必要だと判断した際、計画的に園や学校などに訪問し、子どもとのかかわりについて考える機会を設けます。また、行事等、普段と異なる活動の際には特に情報共有を大事にします。さらに、入園、入学に向けた準備の支援も入念に行います。		
地域支援・地域連携		必要に応じて関係機関と連携をとり、お子さまの現状に合わせた支援を行うことを大事にします。加えて、将来を見据えた支援を考え、関係機関の幅も広がっていくことを想定したうえで、連携を図ります。			職員の質の向上		人権意識を高くもち、日々の支援に関して常にフィードバックを行い、より良い支援につなげます。		
主な行事等		制作活動、クッキング、外出支援など							